

令和7年度 神奈川県立産業技術短期大学校 自己点検・評価表

大項目	小項目	項目番号	入学案内 募集要項	学生便覧	シラバス等	ホームページ	改善すべき点、今後の方針
教育理念	教育の基本理念を確立し、公表している	1				<p>【設置経緯】 //設置の目的 神奈川の先進的産業を支える実践技術者（専門的な知識と、ものづくりの幅広い高度な技能・技術を持ち、豊かな創造力と行動力を兼ね備えた課題解決型の人材）を育成するとともに、県内における職業能力開発の中核施設として、産業発展に寄与する。</p> <p>【校長あいさつ】 本校は、地域社会および経済の発展に寄与することを目的に、「高い技能と技術および学識を持つ、創造性豊かな実践技術者」の育成を理念として、神奈川県により1995年に設立された厚生労働省所管の職業能力開発短期大学校です。</p>	
	教育目標を確立し、公表している	2				<p>【教育目標】 新しい時代に柔軟な対応ができる高度実践技術者の育成 高度実践技術者（テクニカル・エンジニア）を育てます。 創造力と豊かな人間性を育てます。 コンピュータ・サイエンスの基礎力・応用力を育てます。</p>	
	アドミッションポリシーを定め、公表している	3	<p>●募集要項に記載 【神奈川県立産業技術短期大学校アドミッションポリシー（入学者受入方針）】 本校は、専門分野における高い技能と技術及び学識を持つ技術者を育成し、その技術者が地域産業の発展に寄与することを目的としています。こうした技術者を育成するために、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ものづくりに関心があり、専門的な知識と幅広い技術を身につけたい人 他者とのコミュニケーションを大切にし、自らの考えを積極的に発信しようとする人 将来の目標を自ら設定し、日々努力を怠らない人 			<p>【アドミッションポリシー】 本校は、専門分野における高い技能と技術及び学識を持つ技術者を育成し、その技術者が地域産業の発展に寄与することを目的としています。 こうした技術者を育成するために、次のような学生を求めています。 ・ものづくりに関心があり、専門的な知識と幅広い技術を身につけたい人 ・他者とのコミュニケーションを大切にし、自らの考えを積極的に発信しようとする人 ・将来の目標を自ら設定し、日々努力を怠らない人</p>	
体系的な訓練課程の編成	育成する人材像と教育の重点事項を定め、公表している	4				<p>育成する人材像 高い技能と技術および学識を持つ、創造性豊かな実践技術者の育成を理念としています。</p>  <p>めざせ!!実践技術者 実践技術者とは、研究・開発部門と生産部門の双方の立場を理解でき、実際の製造過程で生じる様々な問題を解決しながら、ものづくりを円滑に行えるようになる技術者のことです。めまぐるしい世の中の変化とともに、必要な技術、技能も大きく変わってきており、変化に柔軟に対応できる技術者が求められています。</p>	受験者にキャリアビジョンが伝わるように、「活躍する卒業生」を、入学案内に記載し、オープンキャンパスなどで説明する。
	体系的な訓練課程を編成し、公表している	5					体系的な訓練課程の編成の詳細を、オープンキャンパスなどで説明するよう調整する。
	学習目標を定め、公表している	6			訓練計画の中で、「カリキュラム目標」として学習目標を定めている		企業で即戦力とし活躍できる実践技術者を学習目標を学習成果として、オープンキャンパスなどで説明する。
	修了認定方針を定め、公表している	7		「II 学習案内」P5			入学時、オリエンテーションで修了認定方針を説明する
授業科目における訓練目標、授業の内容と方法、訓練計画及び成績評価基準	履修科目、訓練目標、授業科目の内容と方法を公表している	8			「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	
	授業計画を公表している	9			「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	
	成績評価基準を公表している	10		「II 学習案内」P4からP5	「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	

授業科目の適切な設計・実施・評価	授業科目は、必要な能力を育成するよう編成・実施している	11				
	授業実施内容を評価する仕組みをもっている	12			単位ごとに授業評価アンケートを実施	
適正かつ厳正な成績評価及び単位認定	成績評価を適正かつ厳格に行っている	13				
	単位認定を適正かつ厳格に行っている	14				
	学習成果の獲得状況を量的・質的データを用いて測定する仕組みをもっている	15				
教育資源	教員は適切に配置され適切に教育・研究を行っている	16				
	教育に必要な施設・設備が整備されている	17				滞っている機器について、更新を要求していく
学生支援	学生の生活支援を適切に行っている	18				
	学生の進路支援を適切に行っている	19				
	学生の技術・技能の向上、資格取得を支援するとともに、褒賞制度を設けている	20				
	各種団体等と連携し、学生支援を行っている	21				

産業界との連携	企業（団体）との連携を推進している	22				
	企業との共同研究等を推進している	23				
地域連携・地域貢献	高校との連携を推進している	24				
	高等教育機関等との連携を推進している	25				一部の学科で実施している企業連携を公表していきます。他科については、企業連携を広げていき、公表していくように取組みます。
	民間団体、行政、地域等と連携している	26				一部の学科で実施している企業連携を公表していきます。他科については、企業連携を広げていき、公表していくように取組みます。
入学生確保・情報発信	志願者確保のための効果的な広報を行っている	27				<p>志願者確保のため、次の取組みを実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学案内のリニューアル ・HPの見直しとSNSによる効果的な情報発信の強化 ・高校内ガイダンスへの積極的な参加と、模擬授業の実施 ・高校生のニーズに沿ったオープンキャンパスの実施 ・高校生のニーズに沿った入試制度の実施 ・高校に短大校に関するアンケートの実施 ・高校生に充実した設備をアピールする
	知名度向上のため学校全般の情報発信を強化している	28				<p>志願者確保のため、次の取組みを実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学案内のリニューアル ・HPの見直しとSNSによる効果的な情報発信の強化 ・高校内ガイダンスへの積極的な参加と、模擬授業の実施 ・高校生のニーズに沿ったオープンキャンパスの実施 ・高校生のニーズに沿った入試制度の実施 ・学生にSNSで、短大校の情報発信を依頼 ・ショート動画による情報発信